

まちのうごき

(12月1日現在)	(11月中)	
世帯数 17,164世帯	生まれた人 62人	
人口 53,427人	亡くなった人 29人	
男 26,274人	転入した人 163人	
女 27,153人	転出した人 220人	

向日市

No.444

昭和64年1月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111



迎春

躍動するまち 向日市



一九八九年の新春を迎え、市民の皆さんに新年のごあいさつを申し上げます。
昨年、本市では、京都国体において、体操競技と自転車競技(トラックレース)が開催され、全国各地から多くの精鋭選手や役員の方々を迎え、連日の大観衆の中、華麗な演技やスピード感溢れる競技が展開され、感動のうちに実り多い大会として、立派に成功を収めることができました。

これもひとえに、市民の皆さん方の温かいご支援、ご協力の賜であり、心から感謝を申し上げます。
今後、国体に結集された市民のエネルギーをふるさとづくりに受け継ぎ、二十一世紀に向かって、一層のスポーツ振興と活力と潤いある都市の創造に努める決意であります。

市民の皆さん方には、この京都国体に寄せられました情熱と連帯感を今後のふるさとづくりに生かして頂きたく、心から感謝する次第であります。市政の各分野につきましても、皆さん方のご理解とご協力を頂き、お陰をもちまして、からだの弱いお年寄りの方々のためのデイ・サービスセンターの開所、上植野コミュニティセンターの開館、向陽小学校屋内運動場の竣工、道路・水路の改良や上・下水道事業の促進など、諸施策の推進を図ることができました。

本年は、私にとりまして、四期目半ばを迎え、公約の実現に全力を傾注するとともに、市民の皆さんの要請に応え、市民のくらしを守り、ふるさととの活性化を図る諸施策の推進に一層努力いたします所存です。
さて、今日、私たちをとりまく社会は、人口の高齢化、高度情報化、国際化へと変動し、価値観の多様化などに伴って、市民ニーズも多岐にわたります。かつ、高度化をきたしております。

こうした中で本市では、行財政の一層の効率化と財源の確保を図り、市民の要請に応え得られる行財政運営に努めてまいりたく存じています。本年も、快適な住環境をつくり出すため、幹線街路や駅前整備事業の計画的な取り組みをはじめ、上・下水道事業の促進、生活道路の整備、緑の保全と緑化推進などを一層図ってまいりたく存じています。

また、高齢化社会の一層の進行に伴い、「高齢者福祉総合対策」を策定し、老人の生きがいと心身機能を高める施策の推進やシルバー人材センターの発足など、諸施策の充実を図りたく存じます。
さらに、歴史と伝統のあるふるさと文化の継承と教育環境の充実を図り、市民の健康と福祉の向上、産業の活性化に努めるとともに、国際化社会に対応する施策や平和への取り組みに全力を注いでまいりたく存じます。

「二十一世紀へ躍動する向日市」のまちづくりに市民のみなさん方のご支援をお願い申し上げます。本年もみなさん方にとって、幸多い年となることをお祈りして、年頭のあいさついたします。

向日市長 民秋徳夫